

【第1分科会】

平常時・非常時におけるインフラの活用に向けて

San-En-Nanshin Area Relationship Vision Progressive Conference

日時：令和7年1月27日（月） 13:00～14:30（90分）

会場：ホテルアソシア豊橋 5階 ボールルーム

1. 概略

三遠南信地域には、全線開通の期待が高まる三遠南信自動車道をはじめ、東名高速道路や新東名高速道路、国道バイパス等の主要幹線道路と、県道や市町村道といった一般道が東西南北に走っているほか、地域内には耐震強化岸壁を備えた三河港、御前崎港の港湾インフラも存在する。「道」や「港湾」は私たちの日頃の生活や経済活動を支える重要なインフラである。また、「道」や「港湾」は、大規模災害の発生時、人員や物資輸送の要であり、その速やかな復旧は、広域的な支援を可能にするなど地域の復興に不可欠であるとともに、道の駅などの周辺施設も支援拠点施設として重要な役割を果たす。

南海トラフ地震が懸念されるなか、中部地方整備局は「中部版くしの歯作戦」を策定するなど、早期復旧支援ルートの確保に向け、手順を示している。しかし、災害などの緊急時にこれらインフラを最大限活用するためには、地域として復旧に向けた取組の内容を共有することはもとより、観光や経済活動などにより日ごろから積極的に活用することが重要である。そのため、今回の分科会では、平常時・非平常時におけるインフラの活用について意見交換を行い、地域として連携して取り組むべきことについて考える。

2. 全体構成（90分）

サミット趣旨 分科会内容 説明

冒頭、サミットの趣旨の説明と、会の運営（進行）に関する説明
※説明後はコーディネーターに進行を託します

事例紹介

中部地方整備局「三遠南信地域の道路啓開・復旧の計画について」

南海トラフ地震の際の三遠南信地域の被害想定と戦略について、中部地方整備局に説明をしていただき、南海トラフ地震による被害が大変厳しいものであることを参加者に改めて気づいてもらう機会とします。また、災害時の道路啓開・復旧の計画についての説明をいただきます。

協議①

災害時や復興時における必要な施策、三遠南信地域内の「道」や「道の駅」または「港湾」などを最大限、活用するための取組について

南海トラフ地震で甚大な被害が想定されるが、一刻も早い復旧・復興のため、三遠南信地域をどのように回復させていくかについて各構成団体の想定をお話しいただきます。内陸部からの支援や、海からの支援など、復旧に向けた交通インフラの活用について共有、意見交換をします。

協議②説明

コーディネーター戸田教授「中部圏広域地方計画がめざす地方創生」

災害時だけでなく、観光や経済活動等で日頃から活用していくことも重要です。中部圏広域地方計画がめざしている地方創生について情報提供をいただきます。

協議②

平常時の市町村内の主要道路の活用と、市町村内の道の駅等の既存施設を活かした一般道を介した三遠南信地域の周遊などの考えについて

災害等の非平常時の交通インフラの活用のためには、平常時から観光や経済活動などで日ごろから活用をしていくことが重要となります。全線開通の期待が高まる三遠南信自動車道や、2024年度全線開通の国道23号名豊道路など主要道路、道の駅などの施設を活用した地域内の周遊の取組や考えについて、意見交換をします。

まとめ

コーディネーターによる分科会のまとめ

3. 出席者

- ・市町村 8団体（東三河5、遠州1、南信州2）
- ・経済団体 3団体（東三河2、南信州1）
- ・幹事市市議会議長3名（豊橋市・飯田市・浜松市）
- ・住民ネットワーク代表者1名（NPO 法人地域づくりサポートネット代表理事）

| 区分 | 地域 | 団体名 | 氏名 |
|----------|-----|--|-------|
| 行政 | 東三河 | 豊橋市 | 長坂 尚登 |
| | | 豊川市 | 竹本 幸夫 |
| | | 新城市 | 下江 洋行 |
| | | 設楽町 | 土屋 浩 |
| | | 東栄町 | 村上 孝治 |
| | 遠州 | 湖西市 | 田内 浩之 |
| | 南信州 | 喬木村 | 市瀬 直史 |
| | | 大鹿村 | 熊谷 英俊 |
| 経済 | 東三河 | 豊橋商工会議所 | 神野 吾郎 |
| | | 田原市商工会 | 高崎 雄三 |
| | 南信州 | 駒ヶ根商工会議所 | 福澤 秀宏 |
| 議長 | 東三河 | 豊橋市議会 | 伊藤 篤哉 |
| | 遠州 | 浜松市議会 | 鳥井 徳孝 |
| | 南信州 | 飯田市議会 | 熊谷 泰人 |
| 住民団体 | 遠州 | NPO 法人地域づくりサポートネット代表理事 | 山内 秀彦 |
| コーディネーター | | 愛知大学 地域政策学部 教授 愛知大学 三遠南信地域連携研究センター長 | 戸田 敏行 |
| 事例紹介者 | | 国土交通省中部地方整備局 道路部 道路情報管理官 | 藤山 一夫 |